



シルバーリーフの風

第 17 号 令和元年 12 月 10 日 (火) 発行 (文責・上野・北田)

早いもので 2019 年も残り 3 週間となりました。

3 年生は推薦受験の発表があり、進路決定へ向けてラストスパート、2 年生は修学旅行、1 年生は年明けの文理選択決定、また、三者面談もあります。が、「忙中閑あり」の気持ちで乗り切りましょう！

さて、今号の内容は、11 月 1 日 (金) に開催された、1・2 年生参加による「復興と再生に取り組む高等学校との交流会」(以下、復興交流会) の生徒の感想の紹介が多くを占めています。

掲載したのは、本校生徒 1・2 年生の意見や提案で、深い聴き方のできるところ、そして柔軟な発想力のあるあたりは、さすが志高生 (指向性) です！

今年の復興交流会は、昨年度に引き続き、高田高校、大槌高校から生徒さんに来ていただき、実践発表をしていただきました。

本校生徒は、被災地訪問 (7 月 25 日実施) での宮古市田老及び山田町の様子について写真を織り交ぜて報告し、震災の教訓を継承し未来へと繋げる呼びかけをしました。

高田高校は、タクシオン (T-action; 高田アクション) プランとして、生徒一人ひとりが考案した復興への取組 (海上アスレチック、模型で復活プロジェクト、漫画・アニメで町興し) を 3 名がそれぞれ発表しました。

大槌高校は、震災当時の様子、復興研究会の活動 (定点観測による復興過程の記録、キッズステーション、行政との連携による防災の町づくり、他校交流班による発表や交流、広報班による紙芝居) について発表しました。

これらを本校生徒はきちんと聴き、それぞれ深く考えたようです。

以下に感想文に書かれた意見等を紹介します。是非ご一読いただき、地域として取り組みそうなこと、あるいは保護者からのアドバイスの参考にさせていただけると幸いです。

具体的な提案

- ▶ 四高が毎年行っている被災地訪問はとても良い取り組みだ、続けていくべき、毎年続けていくことが大切、▶ 支援募金 ▶ 月一募金の日、百円募金 ▶ ボランティア ▶ 本校の HP に載せる ▶ 自分たちが伝承させるべき ▶ 震災関係の資料や本を増やしたほうが良い ▶ 総合の授業で学ぶのも大事 ▶ 疑似体験をさせる ▶ 私たちも岩手県人として集客プロジェクトを考案する ▶ ハザードマップで知っておくこと ▶ 毎月 11 日に震災についての本を読む ▶ 毎年一回震災について調べてまとめる機会を作る ▶ 交流会を定期的に設ける ▶ 四高生を年に一度だけでなく定期的に派遣して、その地域の活性化を手伝う (花や木を植えたり) ▶ ボランティアに参加していきたい ▶ 伝える努力をする、語り継ぐこと ▶ PR の CM を作る ▶ 岩手の自然の良さと名所を PR すべき ▶ 内陸と沿岸で積極的に交流することが必要 ▶ 将来イベント会社に勤めて T-action プロジェクトのようなことに携われる人になりたい ▶ 各学年から数名ずつを高田や大槌などの沿岸に派遣し、話を聞き、同級生や後輩に伝えていく ▶ 家族とも震災や防災について話をする ▶ 八重山高校交流の時に発表すればいい ▶ 復興の取り組みをまとめたホームページを作る ▶ 文化活動委で有名な四高だからこそできるような、音楽や芸術で後世に残る作品を作り伝える ▶ 大槌高校のように紙芝居など長く形で残るもので伝える ▶ 沿岸をどう復興させて盛り上げるかというテーマでディベートをする ▶ 高田高校みたいに自分でプランを立てて実現させるのをやってみたい ▶ 忘れない、伝えていくこと ▶ もっと長期的で深い学習が必要 ▶ 被災地の特産物を買うこと ▶ 自分も頑張りたい ▶ 必要なことを事前に考えるような生活を心掛けたい ▶ 家族や友達で集場所を決めたり、相手の電話番号を覚えておくことが大切、災害時についてもう一度確認したい、防災グッズを常に安全に備えておく ▶ 小学生をメインに話を語り継ぐ ▶ 被災地訪問で学んだことを文化

祭で発表し、一般の方にも再度震災について関心を持ってもらう ▶学校に来られていることへの感謝を踏まえて生活していきたい ▶交流会で知ったことを家族・兄弟に話す ▶一緒に復興プロジェクトをやってみよう ▶復興に貢献したい ▶三陸フェアやフェスティバルの開催 ▶小学校の時の先生が「ふるしき」という題で津波の絵本を描いていたので、その本を一人でも多くの人に広めたい ▶災害への対策を委員会のような形でもいいので設置した方がよい ▶アンケートで「どうすれば震災に興味を持つか」を調べる ▶プレゼンをクラス内でやる ▶(震災関連の)部活動を作ればさらに興味を持つ人が増える ▶高校生が主体となって学園祭の地域総ぐるみバージョンのイベントを行う ▶ポスター作成 ▶家庭と避難場所を確認する ▶SNS を利用する(ネット小説投稿サイトで連載、SNS を通して小説を発信、Instagram を利用しておすすめしたい場所や有名な場所をアピール、Twitter で被災地の状況やその地の良いところを流す)

部活動で行動

▶震災の曲を歌っている ▶劇で発信 ▶画を描く ▶小説・詩・短歌・俳句で伝える ▶合同練習 ▶被災地でミニコンサート

依頼的提案

▶ニコニコ動画主催のニコニコ会議を招待してみたらいい ▶県として、津波防災記念館を作ったり、沿岸の観光ツアーを兼ねた被災地訪問に取り組んだほうが良い ▶記念館巡回車を作る ▶高田高校のプロジェクトを YouTube などに載せる ▶地元の人たちが他県へ行ってしまわないように、地元の人にも人気のお店を出してみるのがいい ▶テレビで年に一回は震災について放送すべき ▶沿岸近くまでの新幹線 ▶空港や駅など人が集まるところで写真を展示 ▶東京オリンピックに合わせて、観光客を町に呼び寄せるようなイベントや特産品をアピールすべき ▶沿岸で外国人の雇用を増やすなどすれば外国人も来やすい ▶毎年3月11日に県立博物館で取り上げてもらう、美術館で写真展や震災をモチーフにした絵を展示してもらう

地域との連携・協働の方向性

▶他の地域の方は地元をとっても愛しているのに自分は盛岡のことをあまり知らない これからもっと知っていかなければならない ▶自ら地元のために働きかけるといことが私には足りないところだと思った、何をすれば良いのかをもっと考えられるようにしたい ▶同じ高校生・岩手県民として地域と連携・協働することが必要だ ▶自分の住んでいる地域の魅力をより多くの人に知ってもらうことが大切 ▶もっと震災のこと防災などの活動を行っている人たちや団体に興味を持ち知ることが必要だ ▶町興しになるような活動やイベントを考える ▶まず地域に貢献していこう ▶防災も含め、町づくりを考えるなど、岩手県、日本全体で協働していきたい ▶高校生が地域の活性化に加わること

改善提案

▶四高で訪問している被災地はほぼ小中学校で行っているため、できれば他の地域へ行きたい ▶新しい活動を考えてほうが良い ▶元の姿より豊かになることが大切で、これが「復興」だと思った



本校は、冬季の自転車使用を禁止してはいません。しかし、降雪や積雪、路面の凍結等、危険は多くなりますので、天候や気温に留意しながら、安全に登校してください。

自転車事故件数は、なかなかゼロになりません。やはり避けられない接触事故等は起きてしまいます。これからも注意力を働かせ、事故を起こさない運転、事故に巻き込まれない運転をしましょう！

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
4件	1件	9件	3件	1件	2件	2件	4件	26件

部活動近況 (敬称略)

陸上競技部

- 第24回東北高等学校新人陸上競技選手権大会
女子走幅跳 第7位 2年秋田 萌花 女子1500m 第3位 1年水川 陽香留
女子3000m 第5位 1年 水川 陽香留
- 女子第31回全国高等学校駅伝競走大会岩手県予選会 第3位 (東北駅伝出場へ)
- 2019 岩手県秋季陸上競技大会
男子200m 第8位 1年 鷹羽 柊弥 男子800m 第3位 1年 佐々木 陸
男子110mH 第4位 2年 滝沢 涼太 第5位 1年 佐倉 瑠之輔
男子110mH 第6位 1年 似内 陸斗 第7位 1年 井上 達朗
男子4×100mR 第7位
(2年 滝沢 涼太・1年 佐倉 瑠之輔・1年 佐藤 一平・1年 新坂 恒輝)
男子円盤投 第8位 1年 新坂 恒輝 女子100m 第2位 1年 田中 馨子
女子100mH 第1位 1年 田中 馨子 女子走幅跳 第5位 2年 秋田 萌花
- 第30回東北高等学校女子駅伝競走大会 第19位

水泳部

- 第57回岩手県高等学校新人水泳競技 男子100mバタフライ 第4位 1年 工藤 健人

剣道部

- 第62回岩手県高等学校新人剣道大会 女子個人 第3位 2年 室岡 真菜

テニス部

- 第51回岩手県高等学校新人テニス大会
男子団体 優勝 ※15年ぶり6回目
シングルス 優勝 2年 立花傑 第3位 1年 吉田拓貴 第5位 1年 成澤恒太
ダブルス 優勝 2年 立花傑・1年 吉田拓貴 準優勝 2年 浅沼悠太・2年 佐々木元
第5位 2年 小野寛太・1年 成澤恒太
- 第40回東北選抜高校テニス大会
男子団体 優勝 (初優勝、全国選抜高校テニス大会出場へ) ※20年ぶり5回目
- 第27回東北春季ジュニアテニス大会(U18)岩手県予選
優勝 2年立花傑(東北春季ジュニアテニス選手権大会出場へ)
第5位 2年佐々木元(東北春季ジュニアテニス選手権大会出場へ)
- 2019年度 岩手県ジュニアダブルス選手権大会
優勝 2年立花傑・1年吉田拓貴(東北インドアテニス選手権大会出場へ)
第4位 2年浅沼悠太・2年佐々木元

書道部

- 第24回全日本高校・大学生書道展
団体賞〈高等学校の部〉;最優秀校(第1位) 個人賞;書道展大賞1名、書道展賞10名
- 第42回岩手県高等学校総合文化祭
最優秀賞 2年 中村文香、
漢字・仮名部門 優秀賞7名、奨励賞4名、入選3名
漢字仮名交じり部門 優秀賞4名、奨励賞7名、入選4名

美術部

- 第42回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
絵画の部 特賞 3年 伊東 佳音 入選9名(延べ)

音楽部

○第72回全日本合唱コンクール全国大会

混声チーム 金賞 (Bグループ第6位) ※2年連続 女声チーム 銀賞 (Aグループ第8位)

文芸部

○令和元年度岩手県高校生文芸コンクール

文芸部誌部門 最優秀賞 『志高文芸53号』 (来年度全国大会代表校)

詩部門 最優秀賞 2年 久慈綾香 (来年度全国大会代表)

随筆部門 最優秀賞 2年 阿部泰斗 (北海道東北大会代表)

小説部門 優秀賞 2年 石澤 遥 (来年度全国大会代表)

詩部門 優秀賞 2年 細川奎太 (北海道東北大会代表)、3年 菅原諒大、
1年 丸山咲弥 (北海道東北大会代表)

○第34回全国高等学校文芸コンクール

文芸部誌部門 最優秀賞・文部科学大臣賞 『志高文芸53号』 (2年連続14回目)

小説部門 優秀賞 3年 菅原諒大・2年石澤 遥、優良賞 2年 細川奎太

詩部門 優秀賞・全国文芸専門部会長 3年 角掛杏美、優秀賞 3年 工藤瑚々
優良賞 3年 菅原諒大、3年 佐々木綾香

俳句部門 優良賞 2年 細川奎太

バトン部

東北ダンスドリル秋季競技大会 出場 (→全国大会出場決定)

お知らせ

年末年始地域安全運動

安全で安心して暮らすことのできる
社会の実現に寄与する。

スローガン:

「なくそう犯罪 ふやそう笑顔 みんな大好き岩手県」

重点目標:

「特殊詐欺の被害防止」「鍵かけの励行」
「子どもの安全確保」

実施期間: 12/13 (金) ~ 1/3 (金)

「広報 交通安全仙北」から

○冬道の安全運転

- ① 1割スピードダウンしよう!
- ② 2倍の車間距離をとろう!
- ③ 3分早めに出発しよう!

○夕暮れ時から夜間の交通安全防止「3セット運動」

- ① ライトの早め点灯
- ② 反射材やLEDライト等の着用
- ③ 左からの車、右からの横断者に注意!!

※番外編 (岩手県高文連事務局のある本校には下図のような色々なご案内があります。)



次世代の
能楽を担う若者
急募!

研修見学会のお知らせ

第一回 令和元年12月18日(水) 18:00~19:30
講師 菅方森田流: 栗林祐輔 (第6期研修修了生)
大鼓方葛野流: 亀井洋佑

第二回 令和2年1月15日(水) 18:00~20:00
講師 ワキ方宝生流: 柳野誠吾 (第5期研修修了生)
太鼓方観世流: 加藤洋輝 (第6期研修修了生)
狂言方大藏流: 大藏剛太郎

※詳細は裏面をご覧ください。

国立能楽堂



次世代の能楽を担う若者急募! 研修見学会のお知らせ

同窓会では、後継に能楽を継承するため、プロの能楽師を養成する研修生制度を設けています。
ただし、令和2年4月から研修期間が短くなる等、目下緊急に(注)研修生を募集中です。
研修生への応募をご検討の方を対象に、下記日程で2回の研修見学会を実施いたします。
「自分こそが未来の能楽の担い手になる!」という意気込みにあふれる若者の参加をお待ちしております。

見学会日程

【第一回】 令和元年12月18日(水) 18:00~19:30
菅方森田流: 栗林祐輔
大鼓方観世流: 亀井洋佑

【第二回】 令和2年1月15日(水) 18:00~20:00
ワキ方宝生流: 柳野誠吾
太鼓方観世流: 加藤洋輝
狂言方大藏流: 大藏剛太郎

会場
国立能楽堂 研修館舞台

見学会内容

- 国立能楽堂(注)研修生制度について
- 学生インタビュー
- 講師によるお話
- 質疑応答

申込方法
事前に電話で申込またはメールにてお申し込みください。お申し込みの際には、「研修生急募!」募集要項の提出と共に、以下の事項についてお返事ください。
①志望の研修科(定員制・非定員制) ②志望理由 ③研修期間中の生活費の確保 ④研修期間中の食費の確保 ⑤研修期間中の住居の確保 ⑥研修期間中の交通費の確保 ⑦研修期間中の服装費の確保 ⑧研修期間中の雑費の確保 ⑨研修期間中の保険料の確保 ⑩研修期間中の学費の確保 ⑪研修期間中の生活費の確保 ⑫研修期間中の学費の確保 ⑬研修期間中の生活費の確保 ⑭研修期間中の学費の確保 ⑮研修期間中の生活費の確保 ⑯研修期間中の学費の確保 ⑰研修期間中の生活費の確保 ⑱研修期間中の学費の確保 ⑲研修期間中の生活費の確保 ⑳研修期間中の学費の確保 ㉑研修期間中の生活費の確保 ㉒研修期間中の学費の確保 ㉓研修期間中の生活費の確保 ㉔研修期間中の学費の確保 ㉕研修期間中の生活費の確保 ㉖研修期間中の学費の確保 ㉗研修期間中の生活費の確保 ㉘研修期間中の学費の確保 ㉙研修期間中の生活費の確保 ㉚研修期間中の学費の確保 ㉛研修期間中の生活費の確保 ㉜研修期間中の学費の確保 ㉝研修期間中の生活費の確保 ㉞研修期間中の学費の確保 ㉟研修期間中の生活費の確保 ㊱研修期間中の学費の確保 ㊲研修期間中の生活費の確保 ㊳研修期間中の学費の確保 ㊴研修期間中の生活費の確保 ㊵研修期間中の学費の確保 ㊶研修期間中の生活費の確保 ㊷研修期間中の学費の確保 ㊸研修期間中の生活費の確保 ㊹研修期間中の学費の確保 ㊺研修期間中の生活費の確保

※研修生募集の詳細は、国立能楽堂ホームページをご参照ください。
<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee/naigaku.html>

研修生募集のお問合せ・研修見学会の予約は
国立能楽堂養成係 ☎03-3423-1483まで
FAX 03-3423-6833 / Eメール kensyu19no@ntj.jac.go.jp

国立能楽堂

・寒さに向かい
ます。どうぞ皆様健康
にご留意ください。
い。

・三者面談、どうぞ
よろしくお願ひ
します。

・少々早いですが、
良いお年をお迎え
ください。